

日刊動労千葉

81.12.7

No.914

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）品三（二二）七二〇七

日本労働運動の危機を突破する道、それは、 3.28三里塚へ10万の決起で勝利することだ



ロビー・壇上にあふれる参加者の中で基調報告に立つ
動労千葉 中野 洋書記長（東京・生協公会堂）

12.3集会報告 No.2

右翼労戦「統一」粉砕、三里塚二期着工阻止、を掲げて動労千葉が主催した初の首都圏東京集会は、大きな共感と熱気を巻き起し大成功を勝ちとった。集会には東京の国鉄の仲間をはじめ全国各地・各単産より、百二十五単組・九二〇名の労仲者が結集し動労千葉と共に更に巨大な戦局的労仲運動の全国潮流を創り出すべく奮闘を誓いあった。前号に引続き内容概略を報告します。

中野書記長「基調報告」

集会は、連帯の挨拶に続いて三菱長崎造船労組、電通労組、部落解放同盟荒本支部からのメッセージ、檄電が読みあげられた後、動労千葉中野書記長から一時間二〇分にわたって基調報告が行われた。

中野書記長は、最初に本集会開催について「労戦『統一』をめぐって、今、総評で起こっている事態を見るに、見かねて開催した」「戦後労働運動史上の三大画期を成すともいえる『2.1スト』

『総評結成』そして今日の『労戦統一』、その労戦『統一』をめぐって総評が最大の危機にある」と前置きし、「統一」右翼分裂攻撃の本質を暴露した。特に『基本構想』の反動的内容を暴露し「これこそ日本資本主義の立場に立った、軍事大国化・改憲にむけての戦局的労働運動解体の攻撃であり、徹頭徹

尾粉砕の対象以外の何ものでもない」「最大の危機は、帝国主義を擁護する『右（反動）』の側からの挑発的ともいえる攻撃の迫力の前に、『左（陣営）』の側がオロオロと守勢に終始している事だ」と指摘した。

そして戦後日本労働運動の歴史、総評20年の闘いの経過に触れ、今日の運動の危機をもたらしただけの原因は何かを明らかにした。また「選別排除反対」を唱えている日共の路線に触れ、過去の反労働的裏切りの事実に基づき今日の反動的路線を暴露、弾劾すると共に、動労本部革マルが今日右翼労戦「統一」の尖兵として富塚路線の親衛隊として叩く部分に襲いかかり総評をまとめて奈落の底におとし込もうとしている事実を弾劾した。

そして最後に、こうした反動攻勢を粉砕し勝利する展望を確

交渉速報

年末手当は12月16日支払い

年末手当について、組合要求に基づき早期支払いを要求してきたが12月5日の交渉において、次の通り決定した。

一、支払い範囲、12月16日現在職員。

二、支払い額、基準内賃金（婚姻加算を除く）の二、五ヶ月分。

三、支払い日、12月16日以降準備金次第。

四、その他の取り扱いについては、従来と同様。（以上）

様々の単産・単組（125単組結集）の仲間が、熱心に聴き入った。



集会は、カンパ・ビールに続き、松崎新小岩・永田千葉転西支部長からの決意表明を受け、関川委員長が団結ガムローをもって、20時45分大成功のうちに終了した。カンパ額は十七万七千五百円だった。

信をもって提起した。即ち、「軍事大国化に抗する大衆運動の大高揚を実現し、三里塚で勝利すれば情勢は一変するし、勝利の展望はいっぱいある。そうすれば労戦『統一』などいっぺんでしょう。そのために動労千葉は、12.13『統一』準備会粉砕集会を叩き、来春3.6『統一』闘争一周年記念を期し、習志野市民会館で本日を数倍する二大総決起集会を打ち切り、3.28三里塚に労働者本隊の大決起を軸に10万の隊列を実現するために叩く。今こそ思い切って決起しよう」と提起し、満場割れんばかりの熱烈な拍手で確認された。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！